

I 第28週の発生動向 (2009/7/6~2009/7/12)

- インフルエンザについては、前週に引き続き届出はありませんでした。
- 手足口病については、青森市保健所管内において、新たに**警報**が発令されています。
※ 新型インフルエンザについては、弘前保健所管内で2検体、青森市保健所管内で4検体が検出されています。新型インフルエンザについては、引き続き注意が必要です。

II 第28週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	数	数	数	
小児科 +内科	(85)	インフルエンザ													0											
小児科	(74)	RSウイルス感染症	1	0.1									1	0.0	1				1	0.1						
	(75)	咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1	1	0.1				4	1.0	7	0.2	-11			1	0.1						
	(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.1	9	1.0	10	1.1			6	1.0	10	2.5	45	1.1	-12			10	1.3					
	(77)	感染性胃腸炎	21	2.3	8	0.9	4	0.4	9	1.8	10	1.7	17	4.3	69	1.6	-24	6	6.0	15	1.9					
	(78)	水痘	11	1.2	2	0.2	7	0.8	1	0.2	2	0.3	4	1.0	27	0.6	-44			11	1.4					
	(79)	手足口病	68	7.6					6	1.2	16	2.7	8	2.0	98	2.3	36	2	2.0	66	8.3					
	(80)	伝染性紅斑	5	0.6	2	0.2									7	0.2	2			5	0.6					
	(81)	突発性発しん	3	0.3	4	0.4	2	0.2	1	0.2	2	0.3	8	2.0	20	0.5	1			3	0.4					
	(82)	百日咳														0										
	(83)	ヘルパンギーナ	2	0.2	12	1.3	2	0.2			1	0.2	6	1.5	23	0.5	17			2	0.3					
(84)	流行性耳下腺炎	16	1.8	2	0.2	5	0.6	2	0.4	4	0.7			29	0.7	4			16	2.0						
眼科	(86)	急性出血性結膜炎													0											
	(87)	流行性角結膜炎					1	0.5	2	2.0					3	0.3	0									
基幹	(95)	マイコプラズマ肺炎					4	4.0				2	2.0	6	1.0	3										

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前2人 (21年計：182人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：青森市1人 (21年計：8人)
- (68) 破傷風(五類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：2人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：上十三1人(修飾麻しん：検査診断例) (21年計：7人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

ヘルパンギーナ

(五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、2~4日の潜伏期間の後、突然の発熱と口腔粘膜に現れる水疱性発疹を特徴とするウイルス性疾患で、例年、夏季に流行します(図1)。現在、県全体で増加傾向にあり、前週に比べ、1歳以下の年齢層で増加しています。飛沫およびおむつや下着などに付いた便を介して感染することから、特に流行している地域では、うがいや手洗いを励行することが大切です。

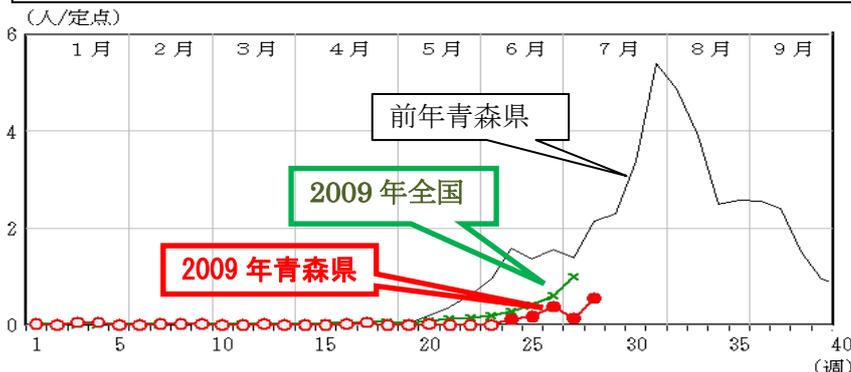


図1 全国及び青森県における届出数推移 (2009年第28週現在)

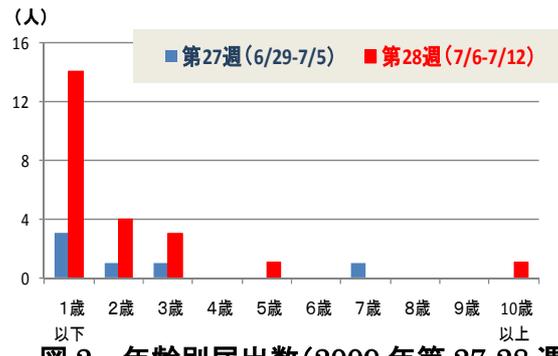


図2 年齢別届出数(2009年第27-28週)